|  |
| --- |
| 資　料　提　供 |
| 令和元年１２月２３日 |
| 担当課(担当) | 文化交流課（福山・山田） |
| 電　話 | 30-8020 |



**市役所本庁舎に麒麟獅子を展示します**

**～１２月２６日にオープニングセレモニー～**

鳥取市は、日本遺産ならびに麒麟獅子舞のＰＲの一環として、とっとり駅前商店会の協力のもと、鳥取市役所本庁舎１階（西口総合情報スペース）に麒麟獅子を展示します。展示期間は、１２月２６日から１年間の予定です。初日は、関係者が出席してオープニングセレモニーを行います。

**１．背　景**

　本年５月２０日の日本遺産認定を受けて、鳥取市は麒麟のまち圏域を構成する６町とともに、一般社団法人「麒麟のまち観光局」（ＤＭＯ）の中に日本遺産「麒麟のまち」推進協議会を設立し、官民共同により、麒麟獅子舞をはじめとする文化財群の県内外への情報発信等の取組を推進しているところです。

このような中、麒麟獅子舞の独自性に着目し、全国に誇れる地域の宝として長年にわたり県内外への発信に取り組んでいる市民団体「キリノロジークラブ」の山本代表（「万年室博士」取締役顧問）より、自身が所属する「とっとり駅前商店会」所有の麒麟獅子舞の用具一式を新本庁舎内に展示することについての提案がありました。

これを受け、日本遺産ならびに麒麟獅子舞のさらなる認知度向上を図るため、とっとり駅前商店会から用具一式を１年間借り受けたうえで、展示に必要な台座や説明パネルなどを準備し、市役所本庁舎において展示することとなったものです。

**２．ねらい**

　表敬訪問、各種会議や手続き、業務打ち合わせなど、さまざまな目的で市内外から本庁舎を訪れる多くの方々に対し、麒麟のまち圏域の日本遺産ストーリーとその象徴である麒麟獅子舞をＰＲします。このことにより、日本遺産ならびに麒麟獅子舞の認知度向上を図ることで、①「関心喚起による圏域内外からの誘客」、②「麒麟獅子舞をはじめとする地域の文化財の保存・活用に向けた機運の醸成」につなげます。

**３．概　要**

（１）展示期間

　　　令和元年１２月２６日～令和２年１２月２５日

（２）展示物

　　　・用具一式（獅子頭、蚊帳、装束など）

　　　・説明パネル　２枚

（３）オープニングセレモニー

　　　・日　時　１２月２６日（木）１３：３０～１４：００

　　　・場　所　本庁舎１階西口総合情報スペース

　　　・出席者　鳥取市　羽場恭一　副市長

　　　　　　　　とっとり駅前商店会　佐々木豊　会長

　　　　　　　　キリノロジークラブ　山本雅明　代表

**４．参　考**

（１）とっとり駅前商店会の概要

　　　駅前通り（ＪＲ鳥取駅北口～まちパル前交差点）沿いに立地する小売店舗の事業者などにより構成。現在の会員数は２１。

商店街ならびに中心市街地の活性化の取組の一環として、キリノロジークラブとの連携により、麒麟獅子をあしらったアーケードフラッグ・電飾看板の設置や、麒麟獅子をイメージした休憩用ベンチの設置（７箇所）などの活動を行ってきた。

（２）キリノロジークラブの概要

　鳥取独自の文化である麒麟獅子を「鳥取の顔」として発信することで、地域の人々にその価値を再認識してもらいたいとの思いから、1992年、有志による活動をスタート。

海外での麒麟獅子舞の披露（ニューヨーク・ベトナム）や、麒麟獅子にちなんだ商品などの企画（カレンダー、ラッピングバス、和菓子）、麒麟獅子を生かしたまちづくり（アーケードフラッグ・看板の設置、モニュメントの設置、休憩用ベンチの設置）などの活動を行ってきた。